

住む

Living Styles

現代——それは人間が創りあげた“便利さ”を追求した世界です。

コックをひねれば水・ガスが出て当たり前暮らし。

カマドやタライでの生活は昔話となり、昭和も遠ざかるいま、「住」の写真を残しておこうと思いました。

家屋の今日

古い時代のよさが残る屋根に葛屋くずやがあります。現在、町内には45戸ほどあります。雨漏り・火災の防止のため



入母屋造り 上部は切妻のように二方へ勾配があり、下部は寄棟造りのように四方へ勾配がある屋根のことを入母屋造りと言い、木造の和式住宅に取り入れられ農村部に多く見られます。



寄棟造り 四つの流れを組み合わせた屋根、大棟の両端から四角に棟が降りている屋根を寄棟造りと言います。正方形平面で一点集中の棟になっているものもあります。



入母屋造り葛屋 合掌造り、切妻造りの葛屋もあります。職人の技と伝統的な「ふるさとの形」が残って、郷愁を感じさせてくれます。

にトタンで被っている家もあります。

近年、葺よし・茅かや等の入手難と職人不足から、この屋根は姿を消しつつあります。

一方では、時代の要求に沿った集合住宅が増えてきました。



切妻造り 棟を境として両方に流れをもつ、書物を半ば開いた形の屋根を切妻と言い、ほとんどの家はこの形で、洋式住宅にも一部取り入れられて新しい住宅にも見られます。



高層住宅 平成7年(1995) 佐野に洋式住宅のマンションが建ちました。鉄筋コンクリート造り13階建て、戸数は98戸あり、間取りは2LDK~4LDKで面積は56~92㎡の規模になっています。